



沖縄を題材にした 市民100人のミュージカル

キジムナ

Kijimuna

ヒトは友の死に涙したとき人になった

作:田中 暢 / 脚本・演出:佐竹啓之 / 振付・演出:石橋寿恵子 / 音楽:Matsunobu

公演日/2017年5月

20日(土) 埼玉会館 大ホール (さいたま市)

21日(日) 埼玉会館 大ホール

27日(土) たましんRISURUホール 大ホール (立川市)

(財)立川市地域文化振興財団共催

開場 17:30 開演 18:30

開場 13:00 開演 14:00

開場 13:00 開演 14:00

開場 17:00 開演 18:00

チケット料金(全席自由) 一般 2500円 / 高校・大学生 2000円 / 中学生以下・障がい者 1500円
(当日券は各300円増し)

*1歳以上保育あり(1週間前までに要予約) 保育料1人 500円・手話通訳あり



埼玉 × 三多摩憲法ミュージカル



灼熱の太陽が照りつける沖縄。

光と陰…。沖縄は二つの顔を持っている。

光の部分はビーチ、リゾート、珊瑚礁…最高の観光地だ。

歌と踊りを愛し、おじい・おばあを大切にする、陽気な人柄。

もう一つの顔。陰の部分。キビ畑の外れに黒々と口を開けているガマ洞窟。国道 58 号線沿いに切れ目無く続く米軍基地のフェンス。陰の部分は不気味に静かで、一度火が点くと手に負えない弾薬庫のようだ。

太古の昔から沖縄に伝わる妖精「キジムナー」

キジムナーは知っている。

人間が人間でなくなる時を。

「憲法」とは何かー「人間らしく生きる」とは何かー

公募により集まった市民 100 人がともに考え、感じ、届ける、本格ミュージカル！

憲法の風を肌で感じてもらいたい…。

時代に疑問を投げかけた若手弁護士によって、埼玉で 1993 年から 10 年間 10 作品取り組まれた憲法ミュージカル。

東京三多摩地域へと引き継がれ 3 年間で 3 作品を上演しました。

先の見えない不安が渦巻き、平和が崩れ去る出来事が増えたこの時代にもう一度！

思いを集め、長い時を経て、埼玉と三多摩のタッグにより、2017 年に憲法ミュージカルは復活します！！

100 人色とりどりの命が歌い、踊り、生きている。この奇跡のミュージカルを、ぜひ観に来ませんか？

歌唱指導：甫木元 志津 / 歌唱指導補：小島百恵

振付補：椎野 純

演出補：前田河 真理・鈴木美弥子 / 衣装：野木はるな・倉持芳美

宣伝美術：船田知宏・佐久間健太郎

写真：新 達也



photo by 森田次彦



埼玉会館
JR浦和駅西口より徒歩 6 分
埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4



たましん RISURU ホール
(立川市市民会館)
JR立川駅南口より徒歩 13 分
東京都立川市錦町 3-3-20

埼玉 × 三多摩憲法ミュージカル実行委員会

埼玉公演お問い合わせ先

〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区岸町 7-12-1
東和ビル 4 階 埼玉総合法律事務所内

三多摩公演お問い合わせ先

〒191-0011

東京都日野市日野本町 3-14-18
谷井ビル 4 階 日野市民法律事務所内



URL <http://www.cueofa.com/kenpoumusical/>
E-mail 2017kpmusical@gmail.com

TEL 050-3701-2017(共通) FAX 048-866-0425(埼玉) FAX 042-587-3599(三多摩)

後援：埼玉県 / 埼玉県教育委員会 / さいたま市 / さいたま市教育委員会 / 立川市 / 立川市教育委員会 / 沖縄県 / 埼玉弁護士会

東京三弁護士会多摩支部 / テレ玉 / 埼玉新聞社 / 朝日新聞さいたま総局 / 朝日新聞立川支局 / 東京新聞さいたま支局 / 東京新聞立川支局
毎日新聞さいたま支局 / 毎日新聞多摩総局 / 沖縄タイムス / 琉球新報社

呼びかけ人共同代表 (弁護士)
牧野 丘 / 木村真実 / 小林善亮